

第13回 中学校給食推進連絡調整会議 会議録

- 開催日時 平成27年10月21日(水) 10:00~11:50
- 場 所 高津区役所 第1会議室
- 出席者 座長：川崎市PTA連絡協議会 齋藤会長
委員：中学校校長会 伊藤校長、佐藤校長
小学校校長会 鈴木校長
川崎市PTA連絡協議会 小原前会長、北山副会長、宮嶋事務局
川崎市教職員組合 阿部書記長
教育)望月中学校給食推進室長
古内企画課長、澁谷教育環境整備推進室担当課長、小田桐教職員課長、
邊見健康教育課担当課長、北村中学校給食推進室担当課長、
森中学校給食推進室担当課長
- ※欠席者： 小学校校長会 山崎校長
川崎市教職員組合 梶間書記次長
教育)星野指導課担当課長、古俣中学校給食推進室担当課長
- 事務局：教育)中学校給食推進室 二瓶担当係長、新田担当係長、細見担当係長、
沼田主任、小川職員

■内 容 (進行 中学校給食推進室)

— 資料確認 —

— 座長挨拶 —

— 資料1 学校給食センターPFI事業の提案概要 —

(事務局より説明)

- 委 員 (仮称)川崎市南部学校給食センターの契約議案では、市議会総務委員会での審議にかなりの時間を要したようだが、納得のいく説明ができるよう、この会議でも細部にわたり議論をしておかなければならない。保護者の要望から始まった中学校完全給食の実施であり、保護者も行政と一緒に事業を推進しなければいけない。
- また、教育委員会には、広報誌などを積極的に活用して、中学校完全給食の実施に関心の無い保護者にも情報発信していただきたい。PTAとしても、PTAの機関紙などで広報できるだろう。今後、現実的な給食費未納問題等についても議論されることになると思うので、保護者としても対応方法をしっかり考えていかなければならない。
- 事 務 局 引き続き、保護者や議会等に対し丁寧に説明していくためにも、本連絡調整会議や作業部会でしっかり議論していきたい。

— 資料2 東橋中学校 試行給食実施について
資料3 東橋中学校 試行実施打合せ（給食衣の選定） —

（事務局より説明）

- 委員 東橋中学校試行実施における評価・検証において、試行給食に関するアンケートを実施することだが、保護者へのアンケート項目として、朝食内容について項目を設けていただきたい。
- 委員 教職員向けのアンケートであれば、給食指導や時程の問題点、生徒の動きなどの運営方法について設問項目を設けていただきたい。
- 委員 合築校方式以外の中学校でも参考となるようにお願いしたい。
- 事務局 次回の連絡調整会議には、アンケート内容のたたき台を示させていただく。
- 委員 給食衣エプロンの素材を教えてください。
- 事務局 綿35%、ポリエステル65%の配合である。
- 委員 綿の割合が多い方が、静電気が起き難い。
- 委員 生徒全員に配布するのか。
- 事務局 小学校の割烹着のように各クラスへ8組程度配布する。東橋中学校では30クラス分を想定している。配布後は、当番制等で使用いただき、使用後は、家庭で洗濯、アイロンがけをして次の当番へ引き継ぐ。
- 委員 今月3日に開催した東橋中学校保護者説明会において、参加者からマイ箸についての質問はなかったか。
- 事務局 説明会当日は、食の安全性や献立についての質問があったが、マイ箸に関する質問は出なかった。
- 委員 箸は持参するだろうが、スプーン等の食器具は忘れる生徒がでてくるかもしれない。
- 委員 東橋中学校では、給食の運搬に際しエレベータを使用するのか。
- 事務局 校舎内に既設の小荷物昇降機があり、各階配膳室まで運搬に使用する。
- 委員 東橋中学校試行実施期間中、検証の一環として、食缶の運搬を手運びとして階段を使っのシミュレーションを実施していただくことはできないか。学校給食センター受配校の状況に近いシミュレーションができる。

事務局 東橋中学校では、一重食缶を使用することから、学校給食センター受配校のような密閉式二重食缶ではない。そのため、密閉式二重食缶を使つてのシミュレーションとなると一部のクラスでの実施に限られてしまうが、学校とも調整をしていきたい。

事務局 過去に実施したシミュレーションでは、御幸中学校において、教室内で生徒の机の並べ方による配膳台の位置等を確認した。また、宮崎中学校において、配膳室から最上階の一番遠い教室まで食缶を手運びした場合に要する時間を計測した。ただし、宮崎中学校では生徒達がない時間帯でのシミュレーションだったので、今後、生徒がいる中での実践的な検証ができればと考える。東橋中学校試行実施の間に学校給食センター受配校の状況に合わせたシミュレーションが可能かどうか学校とも調整していきたい。

委員 シミュレーションを実施する場合、生徒の体格差もあることから、各学年でも実施していただけるとよい。

— 資料４－１ 学校給食センター整備等事業配送対象校等まとめ

資料４－２ 学校給食センター及びその受配校における給食の運搬方法について（想定） —

（事務局より説明）

委員 給食時間終了後の残量確認は業者が行うのか。

事務局 学校給食センター受配校について、学校給食センターを経由せず業者から直接納品されるパン、ゼリーなどは、学校給食センターPFIとは別に委託する配膳員が残量確認を実施する。学校給食センターで調理したものは学校給食センターPFIの業務として、クラスごと、出来上がり品ごとに計量する。そのため、生徒の食べ残しは、配缶された食缶へ戻していただくこととなる。

委員 資料４－１ 学校給食センター整備等事業配送対象校等まとめによれば、学校により配送時間に１時間近くの差があるが、給食の品質に問題は生じないか。

事務局 品質には問題ない。

委員 配送時間は実際に走ったものなのか。

事務局 学校給食センターPFI事業者の提案資料では、３回の異なるルートで試走したということだ。事務局としても試走を行なう予定である。

委員 資料４－２ 学校給食センター及びその受配校における給食の運搬方法について（想定）で示してある給食センター事業者と配膳員の業務の領域が責任の分岐点という理解でよいか。

事務局 その通りである。

- 委 員 牛乳は、学校給食センターから配送されるのか。また、牛乳の空きパックはどう処理するのか。
- 事 務 局 牛乳は牛乳業者が直接学校に納入し、空きパックは事業系一般廃棄物として各学校で処理する。
- 委 員 宮前平中学校の配送時間が長いことから、調理時間によっては給食時間に間に合わないようなことがないだろうか。
- 事 務 局 学校給食整備等事業における要求水準では、給食時間には確実に間に合うことを求めている。また、事務局としても試走して検証する。今後、各学校の給食時程が決まれば、配送行程を再度組み立てることになるので、改めてお示しさせていただく。

室長挨拶

11時50分 閉会